

海流調査（速報）

野 沢 正 俊

目 的

海流クラゲ及び海流ハガキを投入して、対馬暖流沿岸流の長期に亘る流向流速を推定すると共に、卵稚仔輸送経路及び輸送力を推定する資料を得る。

方 法

海流クラゲ（径18cm、軸長39cm、重量33.6g）に海流ハガキ（ビニール袋入り 重量3g）を結びつけたもの（図1）を沿岸漁海況調査観測点の長尾鼻沖水深50m、100m、200mの地点（図2）に昭和59年8月31日投入した。投入時刻は水深50mは15時27分、水深100mは12時10分、水深200mは11時26分である。

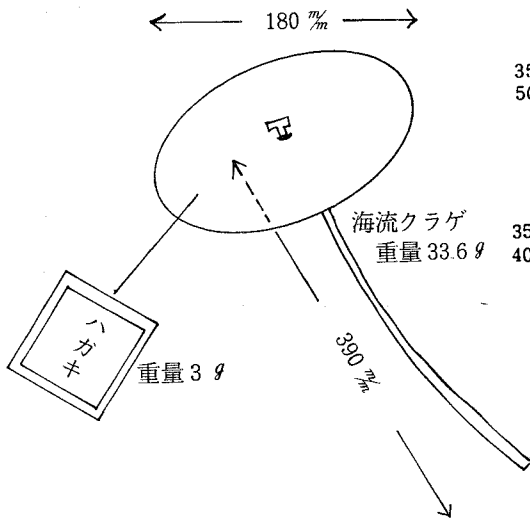


図1 投入海流クラゲ及びハガキ

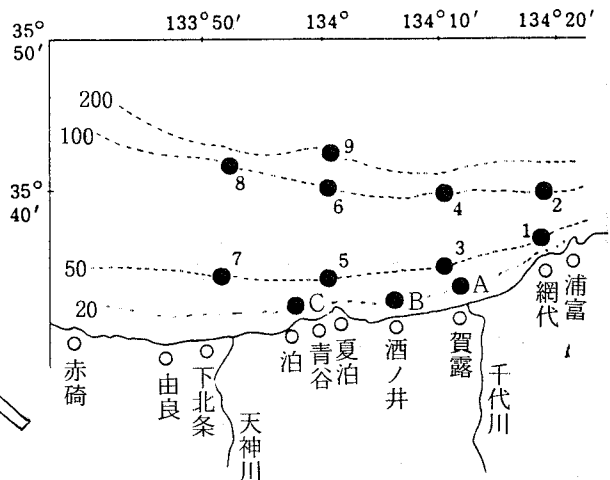


図2 投入地点
 St. 5 (50 m)
 St. 6 (100 m)
 St. 9 (200 m)

投入した海流クラゲ及び海流ハガキは、各々水深別に 100 枚ずつ合計 300 枚である。

海流ハガキには、番号と拾得した年月日時刻、拾得した場所、海上陸上別、住所氏名、郵便番号を記入するように印刷され、ビニール袋に入れられている。

結 果

ここでは海流ハガキの拾得状況を記録報告するにとどめておき、60年、61年と継続して月毎に実施する計画なので調査終了後沿岸流の輸送力について考察を加え報告する予定である。

投入数 300 枚のうち拾得数を水深別にみると 50 m 投入分 29 枚 (29%) 100 m 19 枚 (19%) 200 m 20 枚 (20%) 計 68 枚で 22.6% となっている。(表 1)

表 1 投入水深別拾得数

投入水深	50 m	100 m	200 m	計
北 海 道		2	1	3
青 森		2	3	5
秋 田	1	1	4	6
山 形	1		1	2
新 潟	1	7	5	13
富 山			1	1
石 川	4	6	5	15
福 井	18			18
京 都	4			4
鳥 取		1		1
計	29 (29%)	19 (19%)	20 (20%)	68 (22.66%)

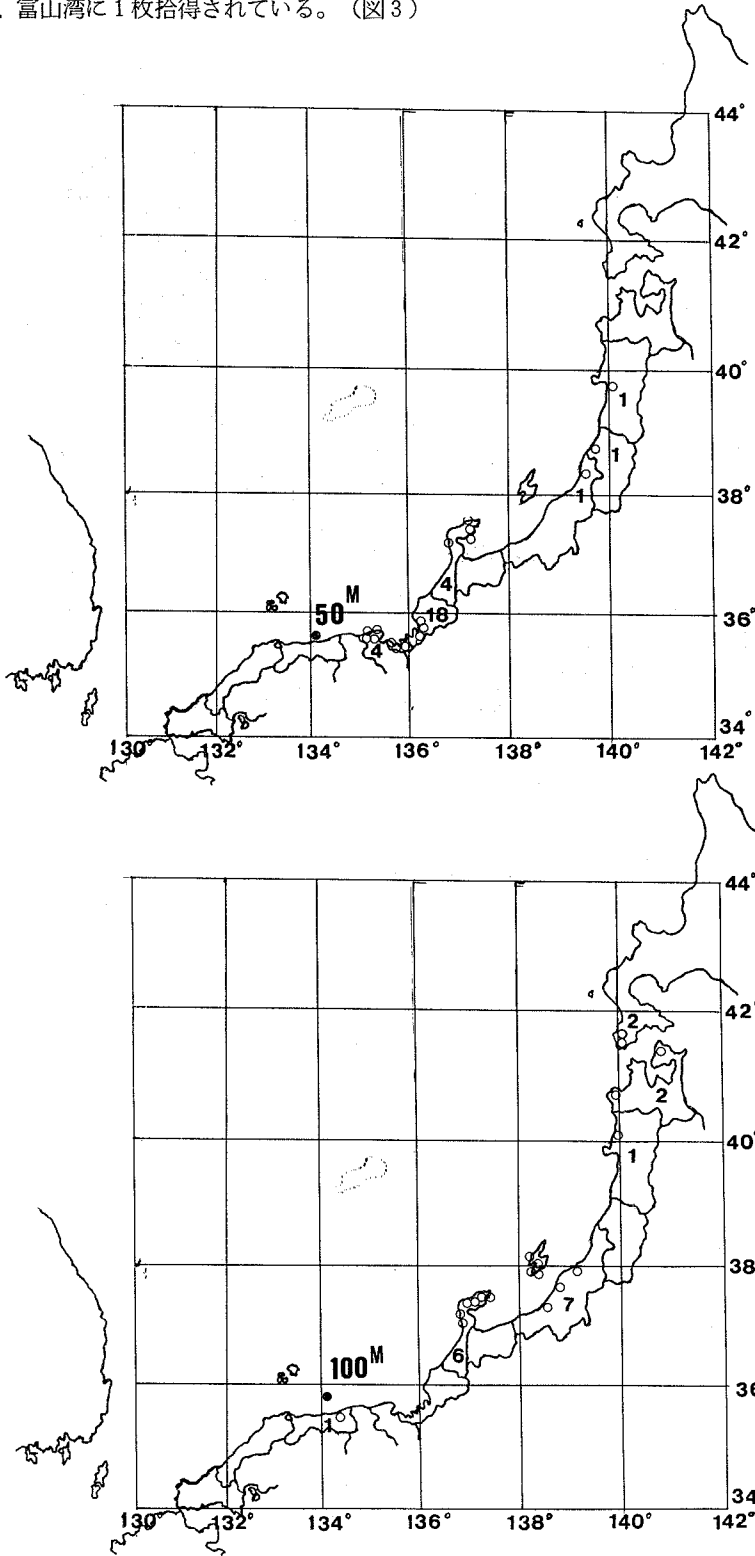
また拾得数を県別にみると日本海各県に及ぶが、隣県の兵庫県では拾得されず、鳥取県以西でも拾得されていない。

拾得数の目立つ県は福井18枚つづいて石川15枚、新潟13枚で夫々10枚以上を占めている。(表 1) 一般的には京都は丹後半島網野町、福井は若狭湾高浜・小浜町、石川は能登半島内外両側、新潟は全県、秋田は男鹿半島、青森は下北半島となっている。

県別投入水深別にみると水深 50 m では、秋田以北になく若狭湾のものが多い。とくに福井は18枚でとくに多く、その中でも大飯郡高浜町が断然多い。

水深 100 m では、石川以北で拾得され、以西ではみられない。石川は能登半島に多く、50 m でみられなかった青森・北海道がみられ、青森のものは津軽海峡を抜け下北半島に達している。北海道にもみられるが、半島に達しているものが多い。100 m では 1 枚であるが鳥取市湖山で拾得されている。

水深 200 m では、石川以北の各県で拾得され、以西ではみられない。各半島に多く青森・北海道に達している。また、富山湾に1枚拾得されている。(図3)



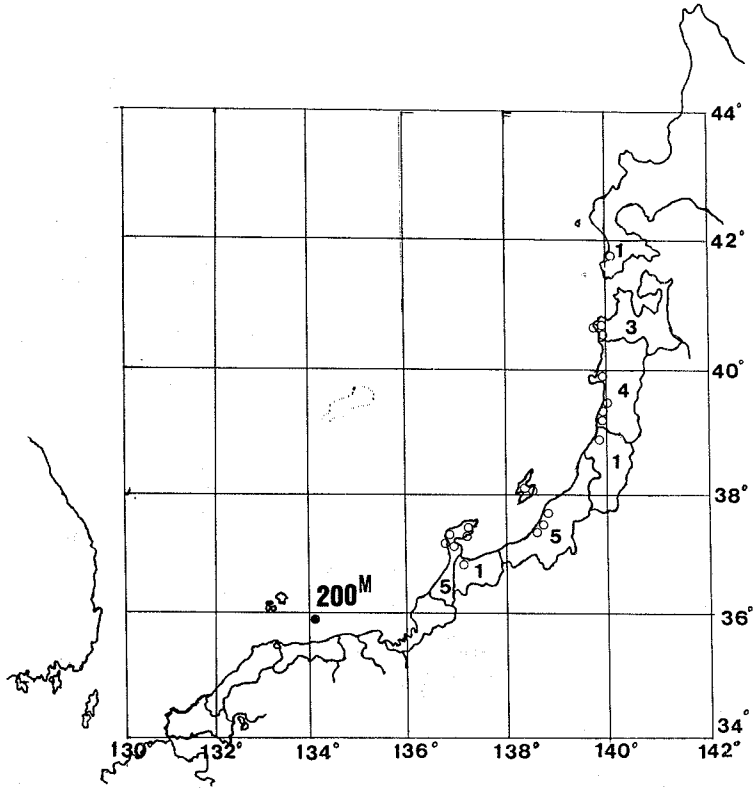


図3 海洋クラゲ及びハガキ拾得位置

拾得地を日数別にみると京都の5日から青森の338日に及ぶが、1年経過したものはみられない。拾得枚数68枚からみると経過日数60日以内が45枚で66.1%を占める。また、70日以内では50枚で73.5%を占めている。(表2)

表2 投入水深別経過日数及び拾得数

日数/投入水深	50 m	100 m	200 m	計
1~	1			1
11~	4	1	1	6
21~	4	1	6	11
31~	5	4	3	12
41~	5		1	6
51~	2	4	3	9
61~	2	1	2	5
71~	1	1	1	3
81~		2		2
91~		1		1
101~				
111~				
121~	1			1
131~				
141~		1		1
151~				
161~	1		1	2
171~	2			2
181~	1			1
191~		2	1	3
201~		1		1
⋮				
338			1	1
計	29	19	20	68

これを水深別にみると50mでは、経過日数60日以内が21枚で72.4%、100mでは同じく60日以内が10枚で52.6%、200mでは同じく60日以内が15枚で75%を占める。(表2)

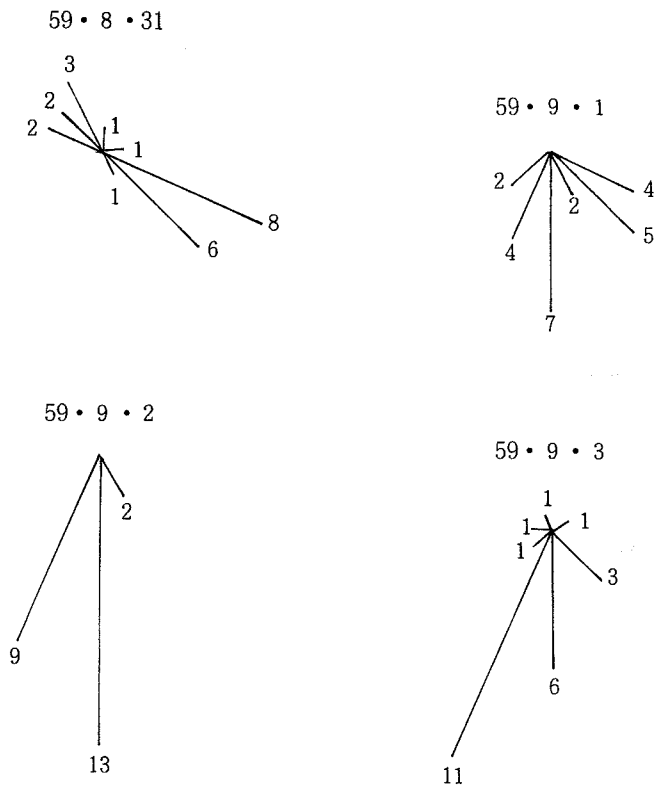
月別にみると59年8月31日投入して、10月拾得が一番多く26枚で38.2%、次いで9月21枚で30.8%、9月10月あわせて2ヶ月以内に47枚で69.1%となっている。(表3)

表3 投入水深別月別拾得数

年月/投入水深	50 m	100 m	200 m	計
59年 9月	10	3	8	21
10月	11	8	7	26
11月	3	3	3	9
12月	1	1		2
60年 1月		1		1
2月				
3月	4	2	1	7
4月		1	1	2
計	29	19	20	68

水深別では、50mでは3ヶ月以内の9～11月24枚で82.7%、100mでは同じく9～11月14枚で73.6%、200mでは同じく9～11月18枚で90%となっている。(表3)

また、投入後5日間の1時間毎風向風力は鳥取气象台の10分毎自記記録資料により示した。



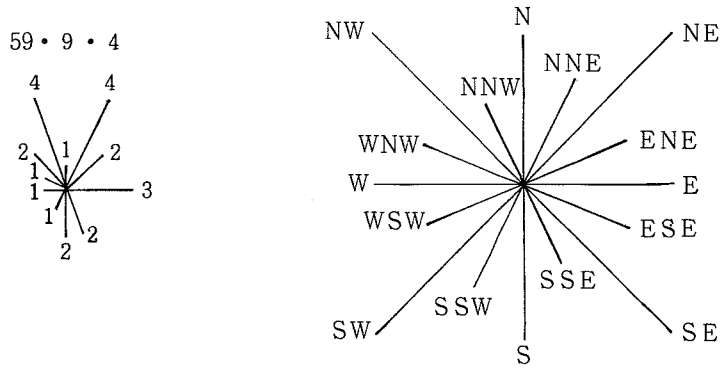


図4 投入後5日間の1時間毎の風向頻度

これをみると風向風力は、投入日の8月31日はESEが卓越、9月1日及び2日はS、9月3日はSSWが卓越、9月4日はNNW及びNNEが卓越して、8月31日～9月3日はS系が多く9月4日に至りN系が多くなっている。

以上前述のとおり61年度調査終了後総合的に報告するので、ここでは速報としてまとめた。